

一般質問

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。この質問を「市政に関する一般質問」といいます。今定例会では、22人の議員が一般質問をしました。その状況について、ご紹介いたします。

大介護時代の到来

阿部 洋子 議員



介護マーク

と思うので、家族ではなく、男性介護者に視点を置かなくてならないと思う。

問 認知症サポーター養成講座について、市職員にも拡大しては。

健康福祉部長 3月11日に福祉交流センター、3月14日に藤代庁舎で養成講座を開催。市民、職員に参加の呼び掛けを考えている。

ウエルネス・タウンの取り組みは？

齋藤 久代 議員

問 知恵、工夫、執念でヘルスリテラシー（※）の普及に取り組みなければならぬと思う。市長の考えは。

市長 取手に住む全ての人々が健康を志向する生活習慣を身に付け、健康を志向しようと思った場合、人を健康にしていく資源が手に取れるところに備わっている地域づくりをしなければと考えている。

問 ウエルネスに特化したブランド戦略の考えは。

まちづくり振興部長 健康をキーワードにして展開を図ることが、将来的にウエルネスというブランドにつながる。今は底辺を広げていく段階。

問 ウエルネスの思想を根本にすると、自転車に注目した環境づくりも重要なテーマと考えるが。

都市整備部長 西口の駐輪場の中では、一時預かりだけでなくレンタサイクルも考えている。ウエルネスプラザには、シャワー室やロッカールームの設置も考えている。

問 ポイント制度など、健康な体・生活を実践する市民が楽しんで参加できる仕組みを実施しては。

まちづくり振興部長 各種取り組みの中で総合的なポイント制度ができれば、ウエルネスに対して、かなり市民の関心も高まる。検討したい。

※ヘルスリテラシー：健康面での適切な意思決定に必要な基本的健康情報などを調べ、効果的に利用する個人的能力

ウエルネス構想とスポーツ

落合 信太郎 議員

問 スポーツを通じた介護予防、健康増進の効果は、活力あるまちづくり、ウエルネス構想に含まれる。構想の中で総合型地域スポーツクラブの位置付けと、今後の支援の在り方を伺う。

教育部長 総合型地域スポーツクラブは、それぞれの地域の特色を生かして活動を行っている。支援を続けたい。

問 総合型地域スポーツクラブの施設の運用状況は。スポーツ生涯学習課長

グリーンスポーツセンター、藤代スポーツセンター、小中学校の体育館・武道場・校庭、公民館を開放し活動を行っている。

問 統廃合による学校の空きスペースの利用も引き続き検討しているか。

答 跡地利用が決定するまでは開放を続けたい。

問 スポーツ施設がだいぶ老朽化している。向原公園のテニスコートは改修要望も出ている。財政の厳しい中、例えば料金の見直しで要望に応えることはできないか。

建設部長 スポーツ施設の修繕は難しい。向原公園のテニスコートは、国交省の堤防工事で公園の一部が買収される予定のため、その資金で一部改修する。使用料の見直しは考えていない。



向原公園テニスコート (西)

生き残り（現時代の政治的必然性）

平 由子 議員

問 お金は、資本主義の体の内部を流れる生きた血液である。不平等、失業等で、この流れが止まればその体は死ぬ。不労所得者の不動産レント（収益）等で終わりになき資本の蓄積・成長と、それに付きまとう格差。今日、国と資本とがかつてなく緊密である。東電措置で国民の将来負担は無量大。東電職員は前年度巨額のボーナスを受け取った。人々は資産を失い、甚大な環境悪化、生活水準の下落に耐え、結果起こる騒乱に、政治的弾圧、警察の暴力、軍事統制が想像される。キャリア、業績、確信、精神、尊厳は捨てられた。ケインズが救済の対象としたのは労働者階級で、上層階級ではない。政治的必要性からではなく経済的必要性からだ。国から権限が移譲される中、強い取り組みを。まちづくり振興部長 県内で水戸、日立市に次いで中小企業への融資支援を行っている。また産業振興の観点から、事業所との情報の共有のため、ネットワークづくりを行っている。